

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 5月 17日

事業所名 放課後等デイサービス ライフイズビューティフル

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	0	いくつかのスペースを活用しています。	・雨の日は工夫が必要だが、晴れた日は外活動、室内と十分だと思う
	2	職員の配置数は適切である	6	0	0		最低限の人員は確保しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	0	0	福祉施設ですので基準はクリアしています。	・車椅子対応ができる程の広さのトイレ、玄関がフラットになっていて段差はほぼありません。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0	0	ITを取り入れながら行なっています。	・支援開始前・開始後の申し送り、ケース会議等を活用して業務改善につなげている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	0	全体会議で内容の確認を行なっています。	・アンケート集計結果を会議等で情報共有を行い、業務改善につなげている
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	0	その他の情報も公開しています。	毎回、公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	0	6	今年度より開催致します。	・令和6年度より実施予定
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	0	支援内容やスキルアップしていく為に研修を開催しています。	県外から講師の先生をお呼びして研修会を行っています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0		アセスメントの内容を強化していきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	0	エイブルを活用しています。	・新サポートノートえいぶるを活用
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	0	スタッフ間で検討しています。	・個別支援会議等で話し合いを行い、立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	0	話し合いで検討しています。	支援会議等で現状を確認し工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	0	0	法人独自の取り組みなどを強化しています。	・利用者に応じた教材を準備している ・課題学習など事前に準備をして対応支援 ・個々に合った課題を提供している ・平日、学校休日でプログラムの内容を変更している
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0	モニタリングで内容の確認を行なっています。	スタッフ間で話し合い活動を組み合わせて作成していけるように取り組む。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	0	申し送りの内容の検討しています。	情報の共有、支援の確認等を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	0	情報の共有はその都度行っています。	・終業後は必ず振り返り、職員同士で気付いた点や申し送りをし情報共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	0	モニタリングの際に検証しています。	個別支援計画書を意識し記録を行っている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	0	保護者さんのご意見も聞きながら検討しています。	定期的なモニタリングで見直しを行っている。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	6	0	0			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	6	0	0	参加者は相談員や ご家族様と相談し ています。	・児童発達支援管理責任者や担当者が参画。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	6	0	0	お迎え時に先生と 確認しています。	事前情報を確認しながら適切に対応しています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	0	0	6	該当する方はいま せんが安全に受け 入れができるのか を検討していきます。	・該当する利用者はいません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	5	0	1	必要な場合には対 応していきます。	・保護者面談等で共有。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	6	0	0	柔軟に対応してい きます。	各関係機関から必要性があれば提供してい きます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	6	0	0		・土屋先生の研修に参加。また、助言等を頂い ている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	6	0	0	様々な交流会を行 なっています。	・運動会、他事業所も参加して交流 ・運動会やeスポーツ等のイベントに参加 ・ライフ運動会、eスポーツ、ハロウィン、水遊び等 で交流を行っている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	0	1	5		参加できていません。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	6	0	0		・気になる場面があれば保護者に連絡 ・活動の様子等、保護者と写真や動画で共有。そ の都度保護者との連絡を取っている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	5	1	0	契約時に丁寧に説 明を行っています。	・土屋先生の研修の際に、保護者へ案内を行 い、ペアレントトレーニング等研修に参加して頂 いている	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	6	0	0		・児童発達支援管理者、また代表が説明を行っ ている ・新規利用の方、また随時間い合わせがあった 際には、説明を行っている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	6	0	0	できるだけ早く対 応しています。	・保護者から相談があれば、管理者に伝え対応。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	5	1	0	今年度、研修会を 開催し、呼びかけ ていきます。	・運動会、クリスマス会保護者参加で交流 ・行事の開催(運動会、クリスマス会)等で、保護 者が参加するとお互い同士で交流しながら話しを している ・保護者参加の研修の機会や行事等へ保護者 参加の機会を設けている
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	6	0	0	その様な事が起き ないように丁寧に 対応していきます。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	6	0	0	できるだけ発信し ています	・公式LINE等を通して行っている
	35	個人情報に十分注意している	6	0	0		・サーバー導入、管理を行っている。また規定の 確認を行っている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	0	必要に応じて対応 致します。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている	6	0	0	どなたでも活用で きるように対応し ている。	・行事やイベントの際には、声かけを行う事や SNS等を通して参加を呼びかけている

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	0	0	マニュアルの作成や実施しているが周知不足でした。	策定しているが周知不足であった。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	0	実際に避難になった時にスムーズに誘導ができた。	・地震・津波避難訓練年1回、火災避難訓練年1回
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	0	講師をお呼びして研修を行っています。	・年1回以上行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0	1		研修会を通して職員全員で理解を深めていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0	4	2		・保護者より連絡を受け対応 ・対象の利用者は、保護者との対応 ・医師の指示書に基づく対応ではないが、保護者から情報を頂き対応をしている
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	0	付箋紙を活用して作成しています。	・ヒヤリハット報告書提出、共有している ・月1回の全体会議の中で、作成共有 ・全体会議等を通して、共有を図っている